東京工業組合	一	七七	一一三	一			一	一一三	七七	七七	八、七〇一
神奈川鐵工組合	二	五五	四四	二		二		二二三	四八	七九	二、〇八七
神奈川製鋼勞働組合	一	一四五	一六	二		二		八	七三	一四五	一、〇六八
神奈川合同勞働組合	二	一六七	一八	二		二		九	八四	一七	一、六三六
鐵色勞働組合	二	九三	三〇		二	二	一五		四七		八五九
合計	五五	三五四七	一、七六八	四九	六	三九 計 五五	八一八			八一三	九五、七三七

十二事業部報告

關東勞働消費組合同盟の解散

事業部は、加盟組合の消費組合、生產組合、信用事業、共濟事業等を指導し、發展を促すのを目的として居るのであるが、我が國の消費組合運動は、稍々ともすれば不健全なる指導精神に誤らる傾向あるを慮り、同盟事業部を中心として、關東勞働消費組合同盟を組織したのであつた。然るに、關東消費組合聯盟のボルシエビーキ化に反對して脫退したる東京共働社、外五組合が新に消費組合聯合會を組織し、その指導方針は本事業部と全く同一であると認められたので、昭和四年十二月四日の理事會に於いて、關東勞働消費組合同盟を解散し、基金を返戻し、加盟消費組合は可及的速かに消費組合聯會に加入して、之を支持する樣決定した。

現に、右消費組合聯合會に加入の組合は、大崎消費組合製鋼勞働消費組合、セメント勞働田島消費組合、の三組合に止まるが、他は何れも配給關係に於いて密接な聯絡を取つて居る。尙、該聯合會は極めて順調なる發展を遂げつゝある。

關係消費組合の概況

現在、加盟組合の主體となつて經營しつゝある消費組合は、別表の如く十二組合で、前年度に比して二組合を減少して居るが消費組合聯合會加盟の紅東消費組合、北豐島消費組合等には本同盟組合員の加入せる者は少くないのである。解散若しくは事業を中止して居る消費組合は、(1)巢鴨遲友講買組合、(2)東京帽子工從業員消費組合、(3)埼玉第一區消費の三組合である。(1)は、豐島消費組合（小市民層に依る）と合同した。(2)は、東京帽子會社小石原工場が柳島工場と合併移轉したるため、一時事業を中止した。(3)は深